

令和3年4月22日

各専門部委員長 様

岩手県高等学校体育連盟  
理事長 佐藤 義文

第73回岩手県高等学校総合体育大会開催に係る無観客の考え方について  
日頃、本連盟の取り組みについて多大なるご尽力をいただき感謝申し上げます。

さて、過日行われました第1回理事・専門部委員長合同会議において、ご意見をいただいた標記について、検討した上で回答することとしておりました。31競技共通の対応について、改めて検討した結果、合同会議で示したとおり「原則、無観客での競技大会実施」といたしますのでご理解いただくようお願い申し上げます。

つきましては、下記の事項についてご確認いただき競技大会準備を進めていただくようお願いいたします。

#### 記

#### 1 無観客の趣旨

県内外において新型コロナウイルス感染症の拡大の懸念があり、大会を安全に運営することと大会後の全国・東北大会及び学校生活等に影響がないようにするために選手・大会運営関係者の最小限の規模で実施する。

#### 2 確認事項

##### (1) エントリー以外の部員の対応

選手の補助・応援のため、入場を可とする。但し、感染防止対策をした上で声を出しての応援を禁止とし、所属校の試合前後の入場については最小限の時間とする。

##### (2) 保護者の対応

原則、入場不可とする。但し、記録及び情報提供の担当であれば各校2名まで入場できることとし、事前に「所属」「連絡先」「検温」「滞在予定時間」を記録させ、専門部の許可を得ること。

##### (3) 報道・卒業アルバム業者の対応

会場の入場を認める。入場の際に「所属」「連絡先」「検温」「滞在予定時間」を控え、取材・撮影等を許可する。

#### 3 その他

(1) 専門部ごとに「開催期間」「参加選手数」「大会会場の規模」「屋内外等条件」が異なるが、感染リスクを軽減した総合体育大会とするため、上記を31専門部の共通の考え方としてご理解いただきたい。

(2) 動画配信については、機材のレンタル又は購入の予算の確保が難しいこと、競技形態の違いや、専門部の担当者の人員確保の課題があり、全体の取り組みとしては難しいと判断することから県高体連としての対応はしないこととする。